

平成 23 年 9 月 27 日

各位

古賀オール株式会社
取締役社長 古畑 勝茂

会社設立 60 周年を迎えてのご挨拶

当社は、本年 9 月 27 日をもって会社設立 60 周年を迎えました。

当社の 60 年を顧みますと、昭和 26 年 9 月、東京都中央区日本橋において、「株式会社古賀鋼材商店」の名称で設立いたしました。当時、鉄鋼は「産業の米」として経済の主役に立ち、日本の高度経済成長期を牽引しておりました、そんな中で当社はとりわけ薄板（鋼板）に目をつけ信用・信頼を第一にお客様のニーズにマッチした鋼板を市場に供給できるよう、事業の拡大に努めてまいりました。

昭和 38 年に東京都江東区深川に「深川工場」を開設し、DDS タイプフライングシャーを採り入れた業界初の大型レベラーラインを設置し、その後も、新砂工場（現東京工場）をはじめ、群馬県太田市、宮城県白石市、長野県茅野市へ支店・工場を開設し、工場規模の拡充と、鉄鋼一次指定商社と鋼板加工センターとしての基盤整備を推し進めてまいりました。

しかし、当社が歩んできた 60 年もけっして平坦な途ではなく、時代の変遷とともに、何度となく苦難に遭遇いたしました。とりわけ、バブル崩壊やリーマンショック、本年 3 月に発生した東日本大震災など、幾多の試練がありました。

当社がこうした幾多の試練を乗り越え、ここに設立 60 周年を迎えられましたのも、ひとえにメーカーさんやお客様をはじめすべての取引先はもちろん、地域社会に関わる本当に多くの方々のご支援とご協力、並びに諸先輩方のたゆまざる協力と情熱による賜物であり、当社の 60 年を支えてくださった全ての方々に対しまして、心より深く感謝の意を表する次第であります。

設立 60 周年を迎えました今日、社会・経済情勢はかつてないスピードで変化し、複雑化しております。そのような中で、当社が歩む次の 70 年、80 年も決して平坦な途ではありません。

当社といたしましては、「これまでの 60 年」で培われた信用・信頼を第一に、そして「縁」と「絆」を大切に、企業の永続に向け、新たな気持ちで社員一丸となって精進していく所存であります。

各位におかれましても、今後とも格別のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

以上